



ヤングケアラー を知ろう

まず知ることに気づくこと。



日時 令和4年 1月22日(土) 13:30~16:00

場所 は一とぴあ清水6階多目的ホール

定員 30名(応募者多数の場合先着順となります)

受講料 無料 申込期限 令和4年 1月14日(金)

対象者 ヤングケアラーに興味・関心のある方など

お申し込み詳細は裏ページへ



佐々木 隆志氏
静岡県立大学短期大学部 学部長



沖 侑香里氏
静岡きょうだい会代表



後藤 久美氏
静岡市教育委員会スクール
ソーシャルワーカー

専門分野は高齢者福祉・児童福祉
北海道出身
イギリス留学(1980.10~1981.11)
東北福祉大学大学院修了(1985.3)
青森中央短期大学 専任講師
(1985.4~1994.9)
弘前学院短期大学 専任講師、助教授
(1994.10~1997.3)
静岡県立大学短期大学部 助教授
(1997.4~2001.3)
静岡県立大学短期大学部 教授
(2001.4=現在に至る)

知的障がいを伴う進行性の難病の妹とともに育ち、子どもの頃から日常的にケアを担う。20代半ばには主たる介護者であった母をがんて亡くし、それを機に妹の保護者として関わる。その2年後に妹の看取りも経験。2018年に「静岡きょうだい会」を立ち上げ、主に障がいのある方の「きょうだい」を対象にしたピアサポート活動や講演活動を開始。

上記のほか
・富士市教育委員会
スクールソーシャルワーカー
・静岡県立富士高等学校
スクールソーシャルワーカー
・一般社団法人てのひら理事
・静岡県社会福祉士会
子ども家庭福祉委員会所属

ヤングケアラーとは

法令上の定義はありませんが、一般的に年齢や成長に見合わない重い責任や負担を負って、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どもとされています。

例えば… (一般社団法人日本ケアラー連盟より)

- ◎障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている
- ◎アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
- ◎家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている
- ◎障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている

子どもの中ではそれが“当たり前”になっていて、表面化しづらいのが現状です。

この講演会では

- ・ヤングケアラーってどんな子どものこと？支援する制度はあるの？
 - ・ヤングケアラーだった方の経験談。どんな生活・どんな気持ちだったの？
 - ・子どもたちのどんな行動に現れるの？アンテナ高くって具体的には？
- について、講師の方々をお招きして「まず知る」ということをテーマに学びます。

来所・お電話・FAX・メールまたは二次元コードのいずれかでお申込みください。

ボランティアセンター清水 (担当：鈴木)

TEL:054-371-0290 FAX:054-367-2825

Mail:vc-shim@shizuoka-shakyo.or.jp

※新型コロナウイルスの感染状況により中止の場合があります。

こちらから申し込みフォームに
アクセスの上、
お申し込み
いただけます！



-----キリトリ-----

ふりがな 氏名			年 代	歳代
	住所	〒 —		
電話	—	—	FAX	— —
MAIL	@			
動機 (参加のきっかけをご記入ください)				